

1 研修テーマ

地域を愛する子どもを育成するために、まず、私たちが地域を知ろう

2 研修の概要

道徳の授業を通して、地域を愛する気持ちを育てたい。その思いを実現するためにはまず、私たちが地域の事を知らなくてはならない。魚沼市の道徳部ではここ数年、地域で活躍している方からの講話や地域の偉人についての講話をお聞きしている。

今年度は、堀之内が生んだ偉人「宮柊二」の生涯について詳しく解説をしていただくこととした。

3 研修の実際

(1) 期 日：8月21日(木)

(2) 会 場：宮柊二記念館

(3) 講演会

演題：「郷土の偉人宮柊二について学ぶ」

講師：生涯学習課 森山丈順様

(4) 館内見学

・館内の展示品から教材化できそうな資料開発



4 成果

(1) 講演会で深まった宮柊二の生涯

郷土の偉人である宮柊二の生家が今現在堀之内にある丸呉書店だということを知って驚いた。日常的に、学校に出入りしている書店でもある。そこが宮柊二の生家として、一気に親近感が沸いてきた。

【昭和 9年 上京する。】

・故郷から逃げるように出て行ったため、暗いイメージの歌が多い。

【昭和14年 召集令状が来る。】

・山西省(中国)戦場へ出征する。

・歌集「山西省」を作るが、GHQにより戦争に関する書籍販売禁止となった。

【昭和28年 コスモス短歌会を作る。】

・物資が不足した中、華やかな表紙にした。

・日中は会社員として働きながら、夜は全会員の短歌を作っていた。

故郷を離れる苦しさ、明日の生死さえ分からない場で輝かせる命の尊さ、勤労奉仕についてなど、教材化する上では大切な視点を与えてもらうことができた。

(2) 館内見学

講話と繋げて見学することができたので、何をどう教材化できるかという視点を深めることができた。

(3) 参加者の感想

- ・魚沼にいて初めて宮柊二記念館に入ってたくさんの所蔵物を見学することができ、大変ありがたかった。
- ・今後授業の中で、この研修で学んだことを生かして教材化してみたい。
- ・宮柊二の生い立ちについては、魚沼の子どもたちはなかなか知らないだろう。彼の人生を通じて、様々なことを学ぶことができた。

